

尖り球になりにくい初夏～夏どりサワー系キャベツ

きよらか キャベツ



【北海道芽室町の地域概況】

十勝川、芽室川、美生川などが潤した広大な大地が広がる芽室町は、十勝平野の中西部に位置し、日本有数の晴天率を誇っています。その恵まれた条件を生かし、小麦、馬鈴薯、豆類、てんさいの4品目を中心とした大規模畑作農業地帯となっています。

産地背景

当産地では、サワー系品種を中心に7～9月出荷を行っておりますが、7月出荷分は定植後の低温の影響により、球形が不安定でした。JAめむろ農業振興センターでは球形の安定した箱詰めしやすい品種の選定を行い、2009年より、試験的に出荷を行い、2010年には面積も拡大されました。

産地での評価

2010年は例年よりも暑い中での栽培となり、品種によっては腐れなど病症害が見受けられましたが、「きよらか」には発生が見られず、形状も安定していて順調に収穫を迎えられました。葉質が柔らかく、品質がとても優れていると評価も高く、形状が安定しているため従来品種に比べ箱詰め作業が楽になったとの声も頂きました。

今後の展開

暑さに強く、腐敗などの病症害の発生が少ない「きよらか」は2011年、7月下旬どりで導入される予定です。また、6月定植では他品種が栽培されていますが、お盆前の収穫では尖り球になることがあるので、「きよらか」を8月上旬どりの作型でも試験を行う予定です。



早植えても尖らず、品質に優れる「きよらか」



生産者からは「形状が安定していて箱詰め作業が楽になった」と高い評価を頂きました。